



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年2月3日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ハウス オブ ローゼ
コード番号 7506 URL <http://www.houseofrose.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 神野 晴年

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 桑野 純也

TEL 03-5114-5800

四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	10,651	5.2	375	999.9	374	823.9	201	—
27年3月期第3四半期	10,127	△6.5	34	△92.0	40	△90.5	△14	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	42.92	—
27年3月期第3四半期	△2.99	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
28年3月期第3四半期	8,777		5,419		61.7	1,152.36
27年3月期	8,624		5,375		62.3	1,143.13

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 5,419百万円 27年3月期 5,375百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	20.00	—	15.00	35.00
28年3月期	—	20.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,500	7.8	450	—	450	—	200	—	42.53

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	4,703,063 株	27年3月期	4,703,063 株
28年3月期3Q	484 株	27年3月期	448 株
28年3月期3Q	4,702,592 株	27年3月期3Q	4,702,615 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期報告書に対するレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期の国内景気は、企業収益の改善や底堅い個人消費等を背景として、総じて緩やかな回復基調が続きました。その一方で、海外における地政学リスクや中国経済をはじめとする新興国の景気不安等により、株式及び為替市場への影響が懸念されるようになりました。小売業界では都市部のインバウンド効果が引続き好調な反面、暖冬により冬物衣料や生鮮食品等が精彩を欠くなど、業種間においても景況感が異なる展開となりました。

(直営店商品販売事業)

主力であるハウス オブ ローゼ化粧品販売事業では、今期ミルキュアピュアスキンケアラインを中心にスキンケア化粧品の販売強化に取り組んでおります。10月には、当ラインのローション及びエマルジョンをリニューアルすると共に、交通広告をはじめとした販売促進策を実施し認知度のアップとお客さまの誘致に注力いたしました。また、毎年12月下旬から開催している恒例のウインターセールも好調に推移するなど、お買上単価の伸びを伴い既存客売上高を中心に増加したこと等が寄与し、直営店舗売上高は前年同期比6.7%増となりました。

一方ネット通販事業は、昨年11月から稼働した自社ネット通販が1年を経過し、その間、自社ネット通販を軸として新規の顧客開拓やコンテンツの強化に取り組んでまいりました結果、売上高は前年同期比82.9%増と概ね計画通りの進展となりました。

他の直営店商品販売事業を加えた当事業売上高は、84億92百万円(前年同期比6.5%増)、営業利益は1億67百万円(前年同期は営業損失1億54百万円)と前年同期の赤字から脱却し、主力のハウス オブ ローゼ化粧品販売事業は順調に回復基調に乗せることができました。

(直営店サービス事業)

リラクゼーションサロン事業(旧:リフレクソロジー事業)は、顧客数が減少する秋から冬場に向けて既存顧客向けDMの拡充やハウス オブ ローゼボディケア商品を使用したキャンペーンの強化を中心に取り組んでまいりました。その結果、顧客単価が上昇し既存店売上高は前年同期を上回りましたが、依然として前期に退店した店舗売上高の影響が大きく、全店売上高比較では前年同期比5.2%減となりました。

一方カーブス事業は、毎年冬期は退会者が増え会員数が減少する傾向にありますが、体験会の実施や会員様からの紹介入会等が奏功し、ほぼ中間期時点の会員者数を維持、12月末時点の会員者数では初めて1万人を確保することができました。さらに物販の強化にも取り組んだ結果、売上高は前年同期比2.4%増となりました。

以上、当事業売上高は12億52百万円(前年同期比2.0%減)、営業利益は1億50百万円(同12.2%減)となりました。

(卸売販売事業)

個人オーナーショップ向け卸売部門につきましては、ハウス オブ ローゼ直営店同様、ミルキュアピュアスキンケアラインやウインターセールが順調に推移しましたが、中間期同様、前期からの退店による店舗数の減少が影響し売上高は前年同期比3.4%の減少となりました。一方、量販店向け卸売部門は、ボディケアを中心としたMD展開での市場開拓が進展したこと等もあり、前年同期比1.0%増となりました。その他一般向け卸売部門は、暖冬の影響もあり季節限定商品の売上が伸び悩む面もありましたが、通販事業者向け売上の増加もあり、前年同期比26.1%増となりました。

以上、当事業売上高は9億6百万円(前年同期比3.6%増)、営業利益は57百万円(前年同期比239.2%増)と増加いたしました。

以上の結果、当第3四半期における全社売上高は106億51百万円(前年同期比5.2%増)と、ほぼ順調に回復してまいりました。さらに、ハウス オブ ローゼ直営店舗の売上増加並びにスキンケア化粧品売上高の増加により売上原価率が低下したこと等の寄与もあり、営業利益は3億75百万円と前年同期からは約10倍増になり、その結果、第3四半期純利益は、2億1百万円(前年同期は純損失14百万円)と黒字転換を果たし、消費増税前である前々年同期水準の四半期純利益をほぼ確保することができました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末より1億53百万円増加し、87億77百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末より2億62百万円増加し、51億30百万円となりました。これは主に売掛金が5億47百万円、商品及び製品が2億84百万円増加し、現金及び預金が4億74百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前事業年度末より1億8百万円減少し、36億46百万円となりました。これは主に無形固定資産(リース資産)が43百万円、差入保証金が58百万円減少したことによるものであります。

負債合計は、前事業年度末より1億9百万円増加し、33億58百万円となりました。これは主に未払法人税等が1億円、短期借入金が90百万円増加し、賞与引当金が1億35百万円減少したことによるものであります。

純資産合計は、前事業年度末より43百万円増加し、54億19百万円となりました。これは主に利益剰余金が37百万円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、前回発表(平成27年11月4日決算短信)に記載の業績予想に変更はありません。上記予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,228,670	1,754,593
売掛金	943,124	1,490,934
商品及び製品	1,525,681	1,810,123
その他	171,056	75,058
流動資産合計	4,868,532	5,130,710
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	407,466	395,664
土地	1,415,905	1,415,905
リース資産(純額)	77,485	59,860
有形固定資産合計	1,900,858	1,871,431
無形固定資産	130,150	86,391
投資その他の資産		
差入保証金	769,002	710,104
その他	955,522	979,903
貸倒引当金	-	△1,266
投資その他の資産合計	1,724,525	1,688,740
固定資産合計	3,755,533	3,646,563
資産合計	8,624,066	8,777,273
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	488,132	512,536
電子記録債務	765,979	834,108
短期借入金	-	90,000
未払法人税等	41,553	142,008
賞与引当金	185,747	50,000
その他	648,801	630,936
流動負債合計	2,130,213	2,259,591
固定負債		
退職給付引当金	918,526	964,723
役員退職慰労引当金	53,624	60,464
その他	145,999	73,439
固定負債合計	1,118,149	1,098,627
負債合計	3,248,363	3,358,218
純資産の部		
株主資本		
資本金	934,682	934,682
資本剰余金	1,282,222	1,282,222
利益剰余金	4,105,949	4,143,183
自己株式	△428	△480
株主資本合計	6,322,424	6,359,607
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	49,395	55,565
土地再評価差額金	△996,116	△996,116
評価・換算差額等合計	△946,721	△940,551
純資産合計	5,375,702	5,419,055
負債純資産合計	8,624,066	8,777,273

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	10,127,466	10,651,296
売上原価	2,937,407	2,990,136
売上総利益	7,190,059	7,661,159
販売費及び一般管理費	7,155,878	7,285,196
営業利益	34,181	375,963
営業外収益		
受取利息	2,207	2,207
受取配当金	1,924	2,079
不動産賃貸料	1,437	1,427
その他	3,549	5,438
営業外収益合計	9,119	11,153
営業外費用		
支払利息	2,040	1,435
リース解約損	—	10,303
不動産賃貸原価	701	663
営業外費用合計	2,741	12,401
経常利益	40,558	374,715
税引前四半期純利益	40,558	374,715
法人税、住民税及び事業税	37,464	128,878
法人税等調整額	17,157	44,012
法人税等合計	54,621	172,890
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△14,063	201,825

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。